

2020年2月19日

各位

株式会社リボミック  
(コード番号：4591 東証マザーズ)**RBM-007 第Ⅱ相臨床試験 FPI（最初の被験者への投与開始）のお知らせ**

このたび（米国現地時間2020年2月17日）、当社が進めているRBM-007第Ⅱ相臨床試験（対象疾患：滲出型加齢黄斑変性）で、最初の被験者への投与が行われましたので、お知らせいたします。

第Ⅱ相臨床試験の被験者募集は、2019年12月に最初の施設で開始し、現在までに全米の5施設において患者の受け入れを進めています。現地時間2月17日、その1施設においてFPI（First Patient In：最初の被験者への投与開始）が実施されました。

**RBM-007について**

線維芽細胞増殖因子2（FGF2）の機能を阻害するアプタマーで、加齢黄斑変性における血管新生と瘢痕形成を同時に抑制する新規な薬理作用を有します。

**試験デザイン**

試験法	無作為化二重盲検試験
被験者	既存薬である抗 VEGF 薬が非奏功の滲出型加齢黄斑変性患者
投与方法	RBM-007 は 1 ヶ月間隔で 4 回、Eylea <sup>®</sup> は 2 ヶ月間隔で 2 回の硝子体内注射
主要評価項目	初回投与から 4 ヶ月目時点の視力変化、安全性
治療群構成	1) RBM-007 単独投与 2) RBM-007 と Eylea <sup>®</sup> （抗 VEGF 薬）の併用投与 3) Eylea <sup>®</sup> （抗 VEGF 薬）単独投与
被験者数	81 名（27 名 x 3 群）
試験期間	各被験者 5 ヶ月
施設数	全米十数か所

本試験の概要は、ClinicalTrials.gov からもご確認いただけます。

<https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04200248>

以上

【本件に関するお問い合わせ先：経営企画部 03-3440-3745】

本リリースに記載されている医療用医薬品(開発品を含む)の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではなく、投資家への情報開示を目的とするものであり、その製品化を保証するものではありません。